

山口県全日畜が、令和5年度公開研修会を開催しました。

令和5年8月25日

山口県全日本畜産経営者協会（会長 隅 明憲氏）は、令和5年8月8日（火）に山口市内において令和5年度通常総会に合わせて、今後の飼料価格や畜産物需給の動向等についての最新情報を得るため公開研修会を開催し、畜産経営者、飼料メーカー、基金協会及び行政機関等の関係者約50名が参加した。

- 演題 「世界と日本の畜産情勢 2023－課題と展望－」
- 講師 三井物産株式会社 食料本部 畜水産事業部 畜産事業室
室長補佐 瀧本 昌平 氏

講演では、国内における飼肥料価格の高騰や畜産物価格の低迷はもとより、世界的な人口増加や異常気象の発生など、我が国の畜産業界が直面する国内外の課題等が提示された。

この中で、特に中国による畜産物や穀物の輸入動向と国内における農業政策の展開方向は、今後の畜産経営等へ影響を与える大きな要因の一つになる。

また、高止まりが続く配合飼料価格は、米国でのトウモロコシ期末在庫量の上方修正等の好材料はあるものの、依然として為替相場や燃油価格等の不安定要素も多く、大幅な引下げは見込みづらいとのことであった。

畜産物の輸出拡大など海外とのつながりが一層強まる中、常に世界の経済動向等に目を向ける一方で、飼料用米等の国内飼料資源の活用により、畜産経営への影響を少しでも軽減していく必要があるとの話で締めくくられた。



公開研修会の様子



情報交換会（講師を交えて）